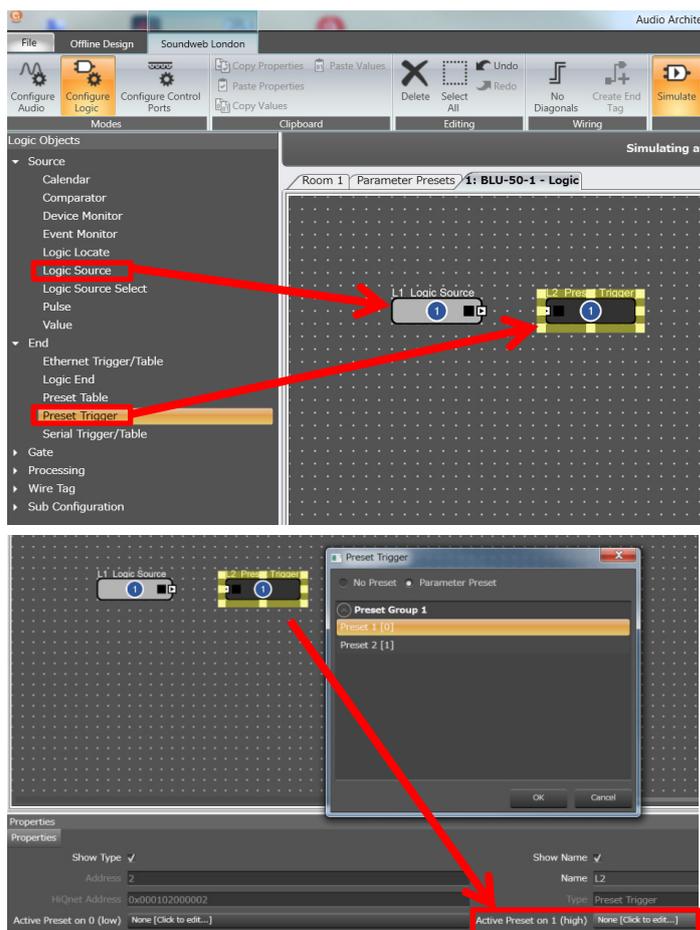


GPI とカスタムパネル、専用コントローラーでプリセットを切り替える

バラバラにプリセットリコールボタンを設定するよりも、ロジックを組むことで、一つのアサインだけで GPI、カスタムパネル、専用コントローラーを同期させることができます。また、GPI にロジックエンドを設定することで LED を光らせたりすることもできます。

以下のその設定方法となります。

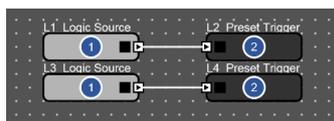


ロジックソース
「Logic Source」

ロジックエンド
「Preset Trigger」
を配置する。

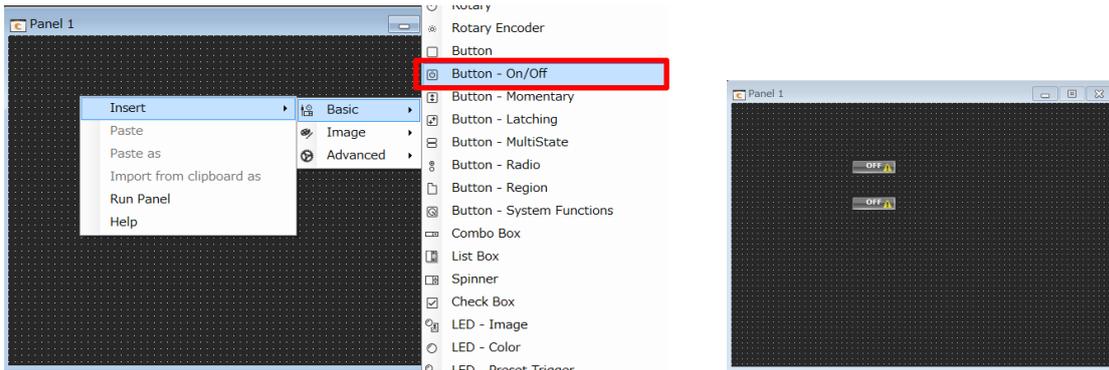
「Preset Trigger」
に ON (High) が来た時に、
Preset が呼ばれるようになります

プリセット分をアサインします。（例では2つ）

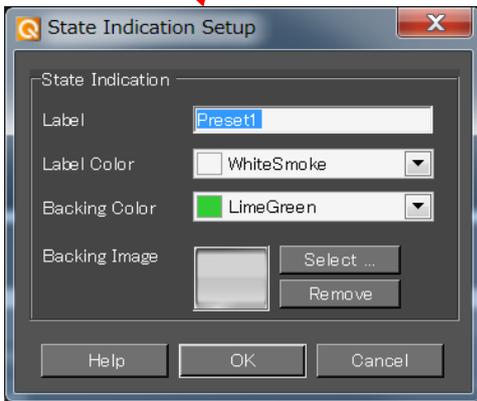


カスタムパネルを選択します。

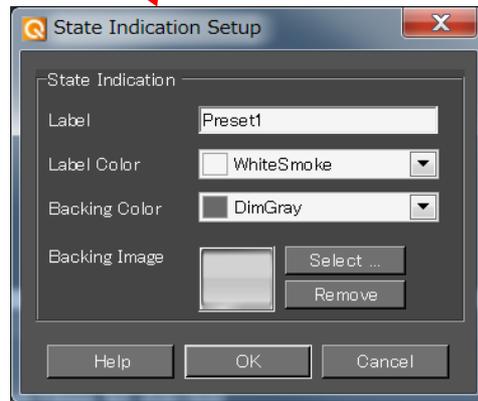
プリセット用に「Button -On/Off」を2つ作成します。



「On Indication」、「Off Indication」のラベルを変更します。

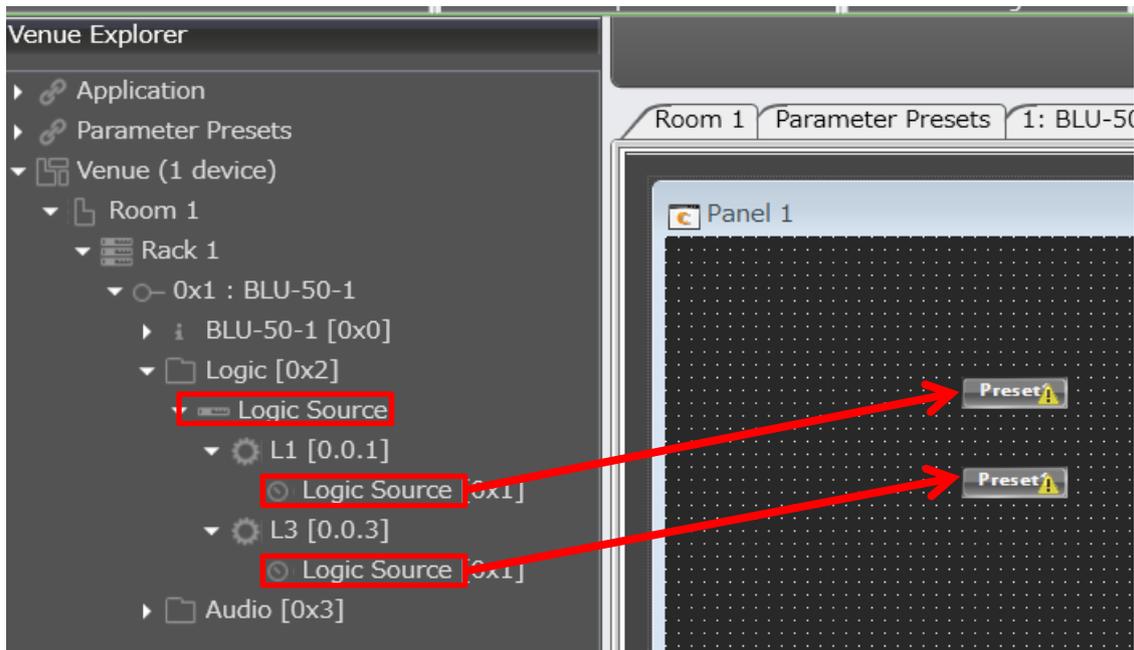


選択時に「Preset1」と表示

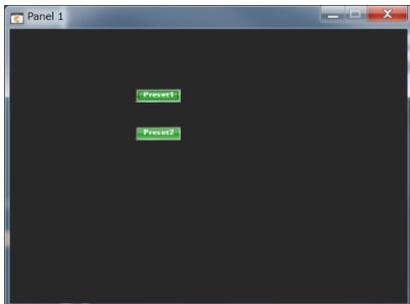


非選択時に「Preset1」と表示

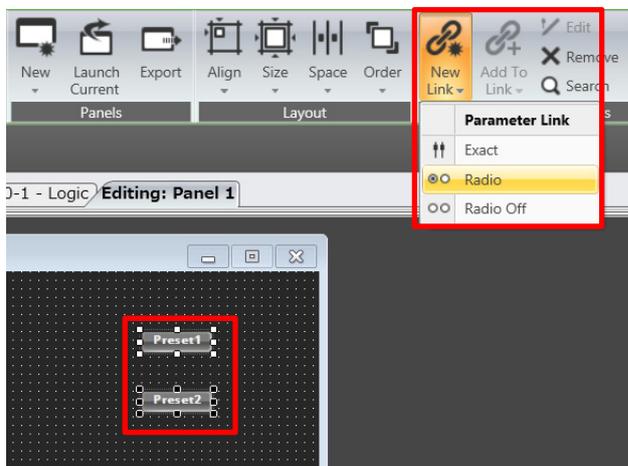
ボタンに「Logic Source」を割り当てます。



ドラッグ&ドロップします。
アサインされると、「！」マークが消えます。

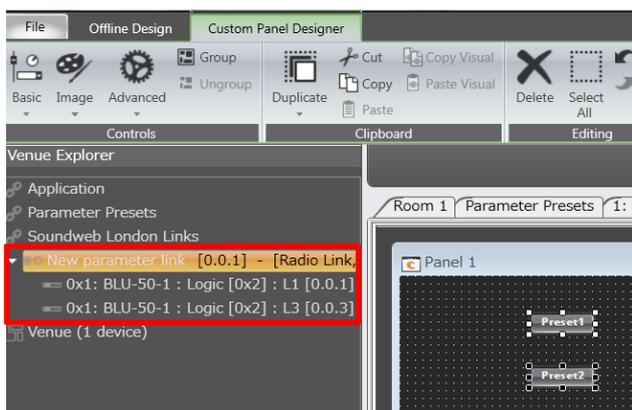


このままの状態だと、ボタンが両方同時に押されてしまうため、「Radio」リンクを組んで、択一選択にします。



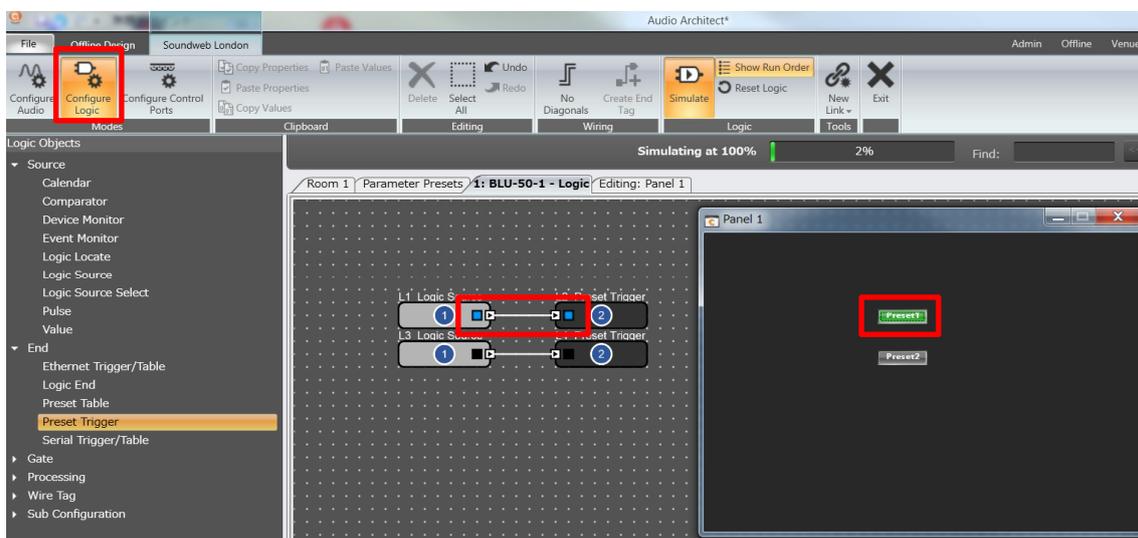
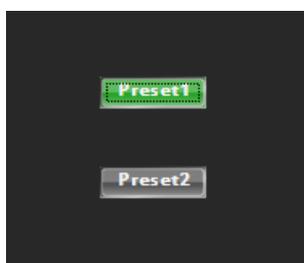
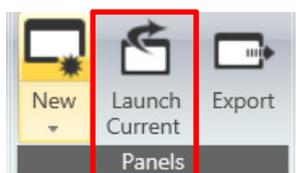
複数のボタンを選択した状態で、
リボン上の「Radio」リンク選択します。

こうすることで、
どれか一つだけが選択されるボタンが
出来ます。



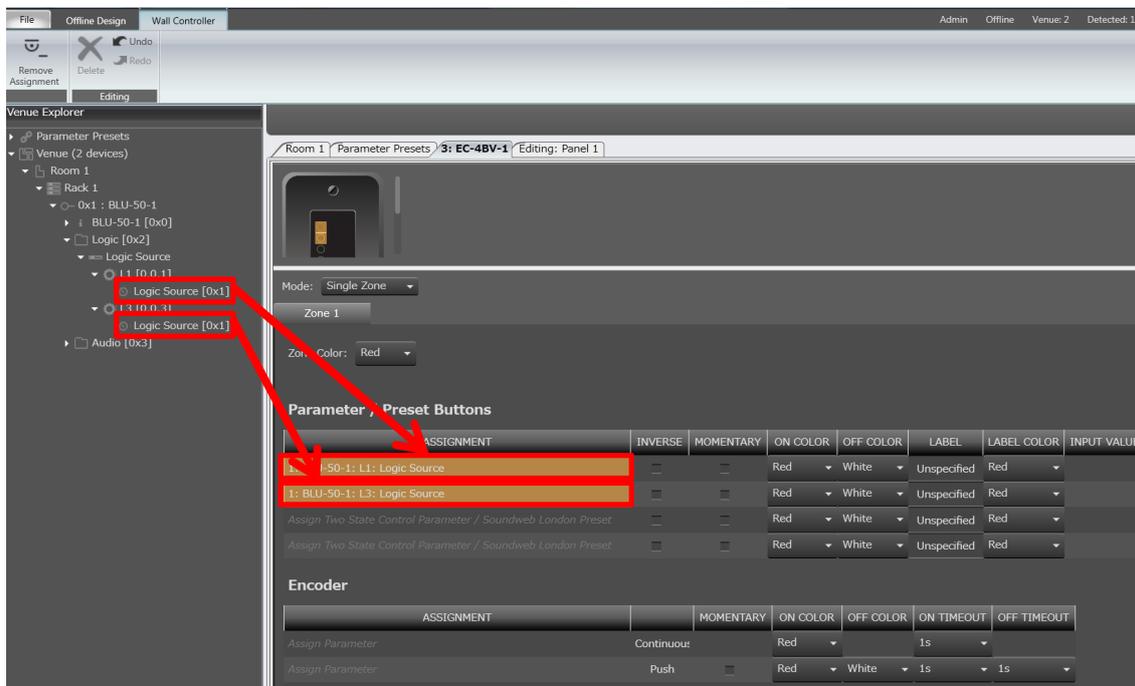
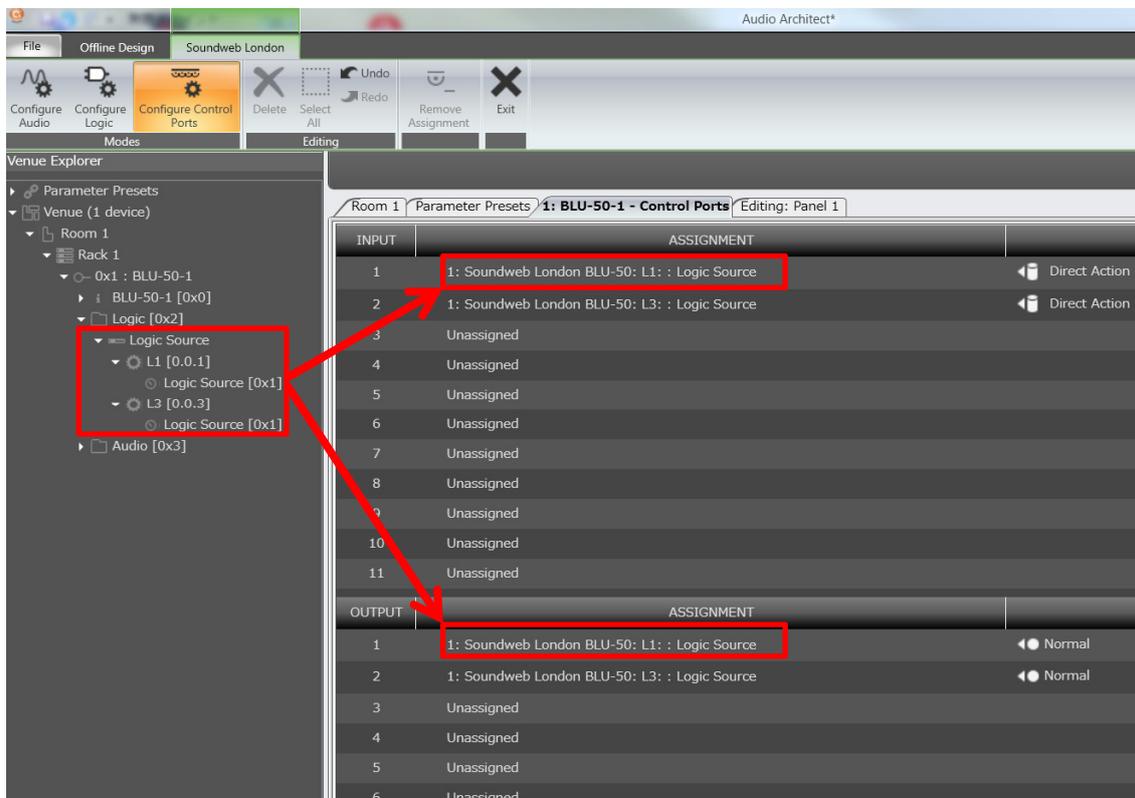
左側 Venue Explorer 上に
リンクが作成されます。

上方にある「Launch Current」アイコンを押下し動作を確認します。



プリセットが切り替わることを確認します。

GPIO に同じ「Logic Source」をアサインします。



また、EC4BV など専用コントローラーの「Parameter / Preset Buttons」に「Logic Source」をアサインします。こうすると、専用コントローラーで切り替えたときにカスタムパネルのパラメーターも変更され GPIO へも出力されます。